

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成23年11月11日

**【四半期会計期間】** 第89期第2四半期(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

**【会社名】** 愛知機械工業株式会社

**【英訳名】** AICHI MACHINE INDUSTRY CO.,LTD.

**【代表者の役職氏名】** 取締役社長 酒井 寿治

**【本店の所在の場所】** 名古屋市熱田区川並町2番12号

**【電話番号】** 052(681)1111(代表)

**【事務連絡者氏名】** 経理部長 佐藤 利弘

**【最寄りの連絡場所】** 名古屋市熱田区川並町2番12号

**【電話番号】** 052(681)1113

**【事務連絡者氏名】** 経理部長 佐藤 利弘

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社名古屋証券取引所  
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第88期 第2四半期 連結累計期間		第89期 第2四半期 連結累計期間		第88期	
		自 至	平成22年4月1日 平成22年9月30日	自 至	平成23年4月1日 平成23年9月30日	自 至	平成22年4月1日 平成23年3月31日
売上高	(百万円)		57,872		56,735		111,055
経常利益	(百万円)		4,057		2,806		5,334
四半期(当期)純利益	(百万円)		2,374		1,656		2,933
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)		2,374		1,656		2,933
純資産額	(百万円)		59,490		61,524		60,048
総資産額	(百万円)		95,269		94,700		93,504
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)		26.24		18.30		32.41
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)						
自己資本比率	(%)		62.44		64.97		64.22
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)		7,339		3,009		14,342
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)		2,152		2,761		5,169
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)		455		396		699
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(百万円)		12,426		16,020		16,168

回次		第88期 第2四半期 連結会計期間		第89期 第2四半期 連結会計期間	
		自 至	平成22年7月1日 平成22年9月30日	自 至	平成23年7月1日 平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)		8.72		10.92

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していない。
2. 売上高には、消費税等は含まれていない。
3. 第88期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理している。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式がないため記載していない。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はない。また、主要な関係会社における異動もない。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はない。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はない。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものである。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比2.0%減の56,735百万円となった。

売上高を製品別にみると、エンジンについては、日産自動車株式会社の欧州向け「ジューク」「キャッシュカイ」搭載分などが好調に推移したものの、新型「マーチ」用エンジンの組立がタイに移管されたことや、東日本大震災により国内向け「ティーダ」「キューブ」搭載分が減少したことなどにより、前年同期比18.4%減の25,455百万円となった。

マニュアルトランスミッションについては、日産自動車株式会社の欧州向け「キャッシュカイ」搭載分が増加したことなどにより、前年同期比0.7%増の9,263百万円となった。また、自動車部分品ほかについては、日産自動車株式会社の新型「マーチ」用部分品及び電気自動車「リーフ」用減速機が立ち上がったことなどにより、前年同期比25.9%増の22,015百万円となった。

損益面においては、コスト低減などの効率化・合理化に取り組んだものの、売上高の減少及び原材料の高騰などにより、営業利益は前年同期比30.9%減の2,807百万円、経常利益は前年同期比30.8%減の2,806百万円、四半期純利益は前年同期比30.2%減の1,656百万円となった。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は16,020百万円となり、前第2四半期連結累計期間末に比べ3,593百万円(28.9%)増加した。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と増減の要因は次のとおりである。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は3,009百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比べ4,330百万円減少した。これは主に、仕入債務が増加した一方で、売上債権が増加したことなどによるものである。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は2,761百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比べ608百万円減少額が拡大した。これは主に、有形固定資産の取得による支出が増加したことなどによるものである。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は396百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比べ大きな増減はなかった。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はない。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における当社グループ全体の自動車関連事業における研究開発活動の金額は45百万円である。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はない。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	250,000,000
計	250,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	90,655,636	90,655,636	東京証券取引所 (市場第一部) 名古屋証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は 1,000株である。
計	90,655,636	90,655,636		

(注) 発行済株式のうち200,000株は、昭和27年11月1日愛知起業株式会社より賠償指定解除機械設備(10百万円)の現物出資を受けて発行したものである。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項なし。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項なし。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項なし。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日		90,655		8,518		12,345

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
日産自動車株式会社	横浜市神奈川区宝町2番地	37,560	41.43
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	4,483	4.94
北前好和	三重県多気郡明和町	2,721	3.00
第一生命保険株式会社 (常任代理人 資産管理サービ ス信託銀行株)	東京都千代田区有楽町1丁目13番1号 (東京都中央区晴海1丁目8番12号 晴海アイランドトリトンスクエア オフィスタワーZ棟)	2,493	2.74
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	2,350	2.59
愛知機械工業取引先持株会	名古屋市熱田区川並町2番12号	1,911	2.10
愛知機械工業従業員持株会	名古屋市熱田区川並町2番12号	1,905	2.10
シービーエヌワイ デイエフエ イ インターナショナル ス モール キャップ バリュ ポートフォリオ (常任代理人 シティバンク銀 行株)	388 GREENWICH STREET, NY, NY 10013, USA (東京都品川区東品川2丁目3番14号)	1,630	1.79
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口9)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	1,574	1.73
明治安田生命保険相互会社 (常任代理人 資産管理サービ ス信託銀行株)	東京都千代田区丸の内2丁目1番1号 (東京都中央区晴海1丁目8番12号 晴海アイランドトリトンスクエア オフィスタワーZ棟)	1,453	1.60
計		58,082	64.06

## (7) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 132,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 90,175,000	90,175	
単元未満株式	普通株式 348,636		
発行済株式総数	90,655,636		
総株主の議決権		90,175	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、自己株式750株が含まれている。

## 【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 愛知機械工業株式会社	名古屋市熱田区川並町 2番12号	132,000		132,000	0.14
計		132,000		132,000	0.14

## 2 【役員の状況】

該当事項なし。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成している。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けている。



## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	64	92
受取手形及び売掛金	13,123	17,124
商品及び製品	315	156
仕掛品	4,060	3,122
原材料及び貯蔵品	680	594
預け金	16,103	15,927
その他	4,704	5,145
貸倒引当金	16	19
<b>流動資産合計</b>	<b>39,036</b>	<b>42,144</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	2 9,088	2 9,198
機械装置及び運搬具（純額）	2 30,071	2 29,848
土地	6,094	6,094
建設仮勘定	2,530	1,082
その他（純額）	2 2,107	2 1,791
<b>有形固定資産合計</b>	<b>49,892</b>	<b>48,014</b>
無形固定資産	143	132
投資その他の資産	4,432	4,408
<b>固定資産合計</b>	<b>54,468</b>	<b>52,555</b>
<b>資産合計</b>	<b>93,504</b>	<b>94,700</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,160	14,241
未払費用	5,766	5,597
未払法人税等	1,274	1,273
製品保証引当金	2,280	1,940
その他	3,192	2,465
流動負債合計	25,674	25,519
固定負債		
製品保証引当金	1,746	1,749
退職給付引当金	5,221	5,234
その他	813	672
固定負債合計	7,781	7,656
負債合計	33,455	33,176
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,518	8,518
資本剰余金	12,345	12,345
利益剰余金	39,223	40,699
自己株式	38	38
株主資本合計	60,048	61,524
純資産合計	60,048	61,524
負債純資産合計	93,504	94,700

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	57,872	56,735
売上原価	51,666	51,828
売上総利益	6,206	4,907
販売費及び一般管理費	1 2,142	1 2,099
営業利益	4,063	2,807
営業外収益		
受取利息	12	22
受取配当金	13	9
固定資産賃貸料	7	7
その他	4	9
営業外収益合計	38	48
営業外費用		
支払利息	6	5
減価償却費	33	32
租税公課	2	7
その他	1	3
営業外費用合計	43	49
経常利益	4,057	2,806
特別利益		
固定資産売却益	1	8
補助金収入	218	110
特別利益合計	220	119
特別損失		
固定資産除却損	106	105
固定資産圧縮損	209	96
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	43	-
特別損失合計	359	201
税金等調整前四半期純利益	3,919	2,723
法人税等	1,544	1,066
少数株主損益調整前四半期純利益	2,374	1,656
四半期純利益	2,374	1,656

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,374	1,656
四半期包括利益	2,374	1,656
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,374	1,656

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,919	2,723
減価償却費	4,057	4,217
貸倒引当金の増減額（は減少）	0	3
製品保証引当金の増減額（は減少）	1,414	336
退職給付引当金の増減額（は減少）	9	13
受取利息及び受取配当金	26	31
支払利息	6	5
固定資産売却損益（は益）	1	8
補助金収入	218	110
固定資産除却損	106	105
固定資産圧縮損	209	96
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	43	-
売上債権の増減額（は増加）	1,141	4,001
たな卸資産の増減額（は増加）	161	1,183
仕入債務の増減額（は減少）	46	741
未払費用の増減額（は減少）	341	168
未払消費税等の増減額（は減少）	117	49
その他	140	543
小計	7,347	3,938
利息及び配当金の受取額	26	31
利息の支払額	6	5
法人税等の支払額又は還付額（は支払）	245	1,065
補助金の受取額	218	110
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>7,339</b>	<b>3,009</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	2,141	2,785
有形固定資産の売却による収入	2	18
その他	13	5
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,152</b>	<b>2,761</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	274	215
配当金の支払額	181	181
自己株式の取得による支出	0	0
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>455</b>	<b>396</b>
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	4,731	148
現金及び現金同等物の期首残高	7,694	16,168
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,426	16,020

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
税金費用の計算	税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算している。

【追加情報】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用している。	

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

金融機関等からの借入に対して、債務保証を行っている。

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
従業員	180百万円	148百万円

2 過年度取得資産の補助金の受入による圧縮記帳累計額

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
建物及び構築物	49百万円	73百万円
機械装置及び運搬具	159百万円	230百万円
その他	0百万円	1百万円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりである。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
製品保証引当金繰入額	75百万円	260百万円
給料及び手当	922百万円	789百万円
退職給付費用	87百万円	84百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりである。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
現金及び預金勘定	68百万円	92百万円
預け金勘定	12,357百万円	15,927百万円
現金及び現金同等物	12,426百万円	16,020百万円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月29日 定時株主総会	普通株式	181	2.00	平成22年3月31日	平成22年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項なし。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	181	2.00	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年11月2日 取締役会	普通株式	181	2.00	平成23年9月30日	平成23年12月1日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車関連事業				
売上高					
外部顧客への売上高	57,336	536	57,872		57,872
セグメント間の内部売上高 又は振替高	365	646	1,012	1,012	
計	57,702	1,182	58,885	1,012	57,872
セグメント利益	3,938	111	4,050	13	4,063

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、不動産事業等を含んでいる。

2 セグメント利益の調整額13百万円には、セグメント間取引消去13百万円が含まれている。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車関連事業				
売上高					
外部顧客への売上高	56,116	618	56,735		56,735
セグメント間の内部売上高 又は振替高	386	845	1,231	1,231	
計	56,502	1,464	57,967	1,231	56,735
セグメント利益	2,699	90	2,789	17	2,807

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、不動産事業等を含んでいる。

2 セグメント利益の調整額17百万円には、セグメント間取引消去16百万円が含まれている。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。



(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりである。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	26.24円	18.30円
(算定上の基礎)		
四半期純利益(百万円)	2,374	1,656
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	2,374	1,656
普通株式の期中平均株式数(千株)	90,526	90,523

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、潜在株式がないため記載していない。

(重要な後発事象)

該当事項なし。

2 【その他】

第89期(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)中間配当について、平成23年11月2日開催の取締役会において、平成23年9月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議した。

配当金の総額	181百万円
1株当たりの金額	2円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成23年12月1日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項なし。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月11日

愛知機械工業株式会社  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	太	田	建	司
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	渡	辺	眞	吾
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	水	野		大

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている愛知機械工業株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、愛知機械工業株式会社及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管している。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていない。